



一本道

相良中学校通信No.35

令和6年2月22日

校長 吉田憲一

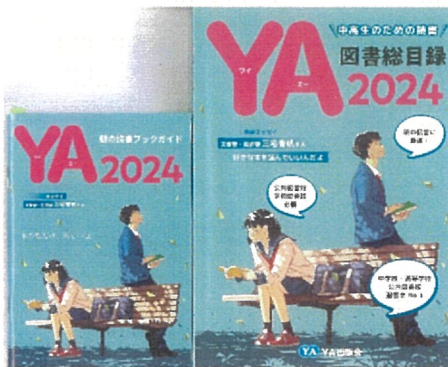
学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

1 全国配付の「YA2024 朝の読書ガイドブック」等に、作文掲載

2月13日、大きな封筒が届きました。開けると「YA2024朝の読書ブックガイド」「YA2024図書総目録」が5冊ずつ入っていました。毎年、全国の中学校と高校へ配付される冊子です。

しかし、今年は、なんと本校の生徒(2名)の作文が掲載されているのです。「朝の読書」への思いがし

っかり綴られており、11月に原稿を読んだ時、関心し、冊子が送られてくるのを楽しみにしていました。2月14日に2名の生徒を校長室に読んで、冊子と図書カードを渡しました。2名の作文の一部を紹介します。全文はHPに掲載していますので、ご覧ください。



相良中 HP へ

「読書は一つの成長の素」 2年 橋嶋きあら

(略) 本を読むと新たな知識、考えの他に自分の新たな一面を知ることができるような気がする。その度に私は、本の大切さを実感する。もっと早く出会っていれば、もっと多くの発見があったのではないかと、何度も思った。この考えを作り出してくれたのも全て、『朝の読書』のおかげだ。私は今、『異世界食堂』という本で新たな出会いを待っている。この本は私が中学生になって一番最初に心を奪われた本だ。(略) 楽しい学校生活の中にある『朝の読書』は私にとって一つの学習であり、経験である。(略)

「20分間で広がる輪」 1年 西ことな

(略) 中でも私が衝撃を受けたのは、『告白』

だった。1つの事件を犯人やクラスメイトの多くの視点からどんどん掘り下げていくのは新体験だった。そして、読んでいる間、背筋がゾワゾワする感覚も好きだった。この本達は、私の20分間を彩ってくれた。でも、それは私だけではない。クラスみんなもだ。この時間ではみんなが読書に熱中している。よくふざけるあの子ども、おしゃべりが好きなあの子どもだ。(略) こうやって、読書の輪が広がって欲しい。

2 心の健康づくり講演会「ストレスについて知ろう」

2月20日、1年生を対象に「心の健康づくり講演会」を行いました。講師は、本校に月1回程度来校していただくスクールカウンセラーの檜垣先生で、演題は「ストレスについて知ろう」です。4名の感想の一部を紹介します。



外部から刺激を受けた時に生じる緊張状態のことが、「ストレス」だと改めてわかりました。(1年 五藤ありさ)

適度なストレスは、心身の成長にもつながるのでいいことだということを知りました。

(1年 田上まなみ)

ストレスを発散するのは、効果のない「テレビゲーム」や「ネットサーフィン」ではなく、しっかり効果のある「運動」や「音楽」にしようと思いました。(1年 今村だいすけ)

ストレスをマイナスだけでとらえるのではなく、プラスで考える「リフレーミング」を大切にしようと思いました。(1年 平川ちひろ)